



# 緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2020.5.11

## 新型コロナウイルスについて

本日、約三週間ぶりに児童生徒が学校に帰ってくるということで、子ども大好きの本校の教職員は、とても喜んでいました。お子様方も、友達や先生と会えるのを楽しみにしていたと思います。やはり、子どもの健全な成長のためには、家族以外の人との触れ合いは大変大切なものであることを再度感じました。

明日からは、分散登校という形になり、子どもたちにとっては、次にクラス全員のお友達と会うことができるのは22日までお預けとなります。クラスを半分に割るとするのは、学校にとって、学級担任にとって本当につらいことです。新年度が始まって2週間での休校で、まだまだ学級づくりの途中でしたのでなおさらです。しかし、密をなるべく避けるために、現状では致し方ないことだと思えます。今後も、感染拡大防止策をしっかりと実行しながら、徐々に学習活動を再開していけたらと思っています。学校では、感染拡大防止のための方策を様々講じておりますが、お気づきのこと、ご心配なことがありましたら遠慮なくご相談ください。

さて、1学期の始業式で子どもたちに次のような話をしました。今のタイミングにも通ずることがあるのではないかと思います、ご紹介させていただきます。

みなさん新学期は楽しみでしたか。お友だちに会えてうれしかったですか。新型コロナウイルスのために、この一ヶ月は、学校もお休みになり、特に最初は、外でも思うように遊べず、中学生は部活動もできない毎日でした。お友だちとおしゃべりしたり、運動場を走ったり、元気に授業を受けたり、これまで当たり前でできていたことができない、それが、悲しかったり不便だったりするということを感じた期間だったのではないのでしょうか。そんな中でも、みなさんは、家ではゆっくりと過ごせる状態でしたが東日本大震災や、西日本豪雨の時は自分の家が住めなくなったり、身近な人が亡くなったりした中で、不便な生活を何ヶ月もしなければならなかった人もたくさんいました。昨日まで当たり前だったことが、突然そうでなくなってしまふことがあり、失って初めてそのありがたさを感じることがあります。お友だちとおしゃべりしたり、運動したり、勉強したりできる、今、このときがとてもかけがえのない時間なのです。時には勉強がいやになったり、お友だちとけんかしてしまって学校に行くのが少しくらく感じてしまったりすることもあるかもしれませんが、それらを含めてかけがえのないありがたい日々なのです。時にはそう思えない日もあるとは思いますが、そういう日々を与え、支えてくれるお友だちや家族、先生、地域の方に「ありがたい」「ありがとう」という気持ちを忘れずに、これからの学校生活を頑張っって欲しいと思います。「ありがとう」はみんなを幸せにする魔法の言葉です。この一年、たくさん「ありがとう」「ありがとうございます」の言葉を使ってほしいと思います。